

オープンスクール「清流の日」

熊本県立八代清流高等学校

テーマ「みんなの夢を授業で叶える」

平成30年10月28日(日)

八代清流高校は進学重視型単位制の学校です。「主体的に学び、対話で深める」授業実践の取組や日頃の様子を知っていただくために、中学生・地域の方、保護者を対象にオープンスクール「清流の日」を開催しました。

第1部 公開授業

1・2時間目の授業はすべて公開授業。国語・世界史・数学・英語ではアクティブ・ラーニング型の提案授業をしました。

生徒からの事前アンケートでは...

Q こんな授業を受けたい

A グループ活動、明るい雰囲気

Q 意欲が高まらない授業とは

A 一方的な授業、先生の機嫌が悪い

Q 必要だと思う力

A 努力する力、学力、思考力・考える力



小林先生はアクティブ・ラーニングの先駆者。人類の歴史から見る授業改善の必要性 転換期の授業にどう臨むか 「100年人生」を楽しみましょう という内容で、会場の生徒の中に入りながら「なぜ今、変わるのか?」「その理由をあなたはどのように思いますか?」と問いかけながら講演されました。生徒もグループワークの中で一所懸命に意見を出し合っていました。

第2部 公開講座(基調講演) 産業能率大学 小林昭文 先生

「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善について考える」



「主体的・対話的で深い学び」を実現するのは生徒!

どんなカタチの授業にも主体的に取り組もう! (小林先生より)

第2部 公開講座(パネルディスカッション) 「地域・生徒とともに作る清流の授業」
 パネラー:生徒代表・職員・保護者代表・地域代表・小林先生 司会:教育センターの先生



壇上に並ぶパネラーのみなさん



保護者や地域の方も参加

生徒からパネラーへの質問

A Iの発達が大きく影響を及ぼす社会では、どんな力を身に付ければよいのか。
 「挨拶は大切だ」とよく言われ、自分も大切にしている。しかし、A I社会では、人と人のつながりがなくなるのではないか。

パネラーからは

「これからの企業では、マニュアルにはない課題に対して、自分で解決策を考え、発展していく人間力が求められる。」
 「これから何を重視していくのか！」そのことを君たちが考えていくんだよ。

参加いただいた皆様のご意見・ご感想

参観した授業では「こんな問題が解けたんだね。すごいね。」と励まし続けられていました。居心地のいい空間でした。
 パネルディスカッションでは、焦点がA I社会に移り、授業のことから離れてしまった。もっと生徒たちの質問を聞きたかった。こういう場で意見を言える子どもになってほしい。
 学校全体で創り上げていく！という雰囲気伝わりました。

「清流の日」を通して何を感じたでしょうか...(生徒の感想から)

社会が大きく変化していることを強く感じると同時に、私たちもその変化に対応していかなければならないと思った。知識よりも生きる力や自分の言葉で表現する力が大切になると感じた。
 学力だけではなく、考えを発言することや表現力、相手とのコミュニケーションが必要になることが分かった。
 社会が必要として人材を育てるための授業が清流高校で行われているのか？

色々な立場の方から、本校の授業や社会が求める人材についてご意見をいただきました。生徒の夢を実現する学校であるために、学校・保護者・地域が課題について考える機会になりました。One Step Forward! 清流高校は一步一步夢に向かって進んでいきます。